

副研究科長ご挨拶



大学院教育の質向上と学位取得環境の改善に向けて

副研究科長（教育担当） 岡田 賢

この度、大学院医系科学研究科の副研究科長（教育担当）を拝命いたしました。昨年までの2年間、医学科長として学部教育に携わってまいりましたが、その経験を踏まえ、大学院教育の充実に取り組んでまいります。現在、本学大学院では学位取得率および標準修業年限内修了率の向上が重要課題となっています。とりわけ医学系では、働き方改革や臨床との両立により研究環境は一層厳しさを増しています。こうした状況の改善に努め、岡村研究科長のもと本研究科の発展に貢献してまいります。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

Topics

KASUMI異分野融合研究拠点について

大学院医系科学研究科長 岡村 仁

広島大学大学院医系科学研究科は、学問の深化と社会実装の両立を使命とし、分野の枠を越えた新たな知の創出に挑戦してきました。とりわけ、霞キャンパスと東広島キャンパスという地理的に離れた拠点が、それぞれの強みを持ち寄り有機的に結びつくことは、本研究科の将来を左右する重要な課題と位置づけています。

その具体的な取り組みとして、令和6年12月に5つの「霞分室」を設置しました。さらに令和7年度には、東広島地区の研究内容を霞キャンパスの教員に広く共有することを目的に、各分室が中心となって「広島大学霞連携推進セミナー」を全8回開催しました。本セミナーでは、東広島キャンパスの研究者による研究発表に加え、意見交換や名刺交換を通じて、共同研究の創出や今後の発展につながる交流を促進しました。こうした分野やキャンパスの垣根を越えた対話の場は、新たな共同研究の萌芽を生み、融合研究の基盤を着実に築きつつあります。

これらの取り組みをより明確に発信し、持続的に発展させるため、「霞分室」はこのたび「KASUMI 異分野融合研究拠点」へと名称を改めました。

令和9年度には、放射線影響研究所が霞地区へ移転予定であり、その建物1階に本拠点が入居します。国際的研究機関との日常的な交流が可能となるこの環境は、本研究科にとって新たな飛躍の契機となります。KASUMI 異分野融合研究拠点を知と知をつなぐ結節点として、融合研究の新たな地平を切り拓いていきます。

KASUMI 異分野融合研究拠点

拠点長／副拠点長

ゲノム編集
イノベーション
センター連携
統合生命科学研究所
×
医系科学研究科統合生命医科学
研究拠点
統合生命科学研究所
×
医系科学研究科医工情報学
連携
先進理工系科学研究科
×
医系科学研究科スマート
ソサイエティ
連携
スマートソサイエティ医科学研究院
×
医系科学研究科ウェブサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp/kasumi-irc>